

人秘

第二十四驅逐隊支那事變第二回功績概見表

第二十四驅逐隊司令海軍中佐久宗米次郎

10
25

1366

第二十四驅逐隊					所轄	區分
江 風					驅逐艦名	
功績等級	勲功甲	勲功乙	勲功甲	勲功乙	功績等級	
戰闘戰闘行動 事變關係業務等	(自昭和十二年十月二十日 至同十月二十七日) 飛行艦隊任務に従事 (廣東英德附近軍事施設粵漢 鐵道廣九鐵道等爆撃)	(自昭和十二年十月二十八日 至同十月三十一日) 於佐世保補給	(自昭和十二年十月十七日 至同十月十七日) 飛行艦隊任務に従事 (梧州湾嘉善嘉興方面及桂林 無錫方面爆撃)	(自昭和十二年十月十八日 至同十月二十日) 於佐世保補給	戰果成績 効果等	其他参考事項
戦果成績 効果等	飛行艦隊攻撃 目標二對シ有 効ナル爆撃 ヲ敢行シテ大 効果ヲ收メタリ	作戦準備	飛行艦隊攻撃 目標二對シ有効 ナル爆撃ヲ敢行 シテ大効果ヲ收 メタリ	作戦準備	十月二十日 第三驅逐隊第二 航空戰隊二編入	記 事
			十月九日 防護衛艦隊より除 カレ支那方面艦隊 第二空襲部隊ト ナル	十月一日 飛行艦隊攻撃 目標二對シ有 効ナル爆撃ヲ敢行 シテ大効果ヲ收 メタリ		

1367

第 二 十 四 驅 逐 隊

風

江

勲功甲	勲功乙	勲功甲	勲功乙
（昭和十一年十二月二日） 於佐世保補給	（昭和十一年十二月三日） （至同） 十二月三日揚子江流域ニ向テ佐世保 發十二月四日「クソシシ」著第一 學隊（前陸軍航空隊）ニ合同 水路啓開作業開始	（昭和十一年十二月五日） （江陰附近水路啓開任務ニ從事） 小掃海隊員「クソシシ」機雷 照掃海ニ從事	（昭和十一年十二月六日）
飛行整備任務ニ從事 （廣東方面軍事施設襲撃漢 鐵道廣九鐵道等爆撃）	初上爆撃ヲ 敢行シタル 初上爆撃ニ 至五月一日 夜露曉五隊能 行機上基地 進出飛行機 戒ヲ行フ	機雷五枚捉	雷戰隊ニ編入 同日附 支那方面艦隊司 令長官ノ指揮 下ニ入り中支部隊 第一學隊部隊ニ 編入司令官ノ 指揮ヲ受テ
掃海隊員 海軍大尉 柴山一雄 外務省書記 下志良一			

1368

第 二 十 四 驅 逐 隊

風

江

殊勲乙	殊勲甲	殊勲甲	殊勲乙
(昭和十二年十二月九日) 水路啓閉任務ニ從事シ三江營ニ 進出五坪碼頭及三江營陣地破壊等	(昭和十二年十二月八日) 水路啓閉任務ニ從事シ江陰ニ進出 自江陰至「バートポイント」江岸ノ敵 制壓	(昭和十二年十二月七日) 敵兵力制壓並水路啓閉作 業直接援護ニ從事 福善沙港道西端ニ進出 三小掃海隊員「クーパーバンク」機 雷礁掃海ニ從事	江陰附近水路啓閉任務ニ從事 三小掃海隊員「クーパーバンク」機雷 礁掃海並處分ニ從事 三小掃海隊員福善沙附近掃 海ニ從事
五坪碼頭及三 江營陣地ノ 敵ヲ潰滅セシム	江陰至「バート ポイント」水路 確保	「クーパーバンク」機 雷礁ニ於テ 機雷一拘捉 機雷八爆破 シ機雷礁ヲ 掃海ニ完セリ	「クーパーバンク」機 雷礁ニ於テ機 雷二拘捉機 雷八爆破處 分ス
		掃海隊員 海軍大尉 柴山一雄 外務省書記 下士官兵二	掃海隊員 海軍大尉 北山一雄 外務省書記 下士官兵二 福善沙掃海 隊員 雷南崎重雄 外士官兵九

1369

第 二 十 四 驅 逐 隊

風

江

殊勲甲	殊勲乙	殊勲乙	
(昭和十二年十二月十日) 二、尹公洲發都天廟砲台及其附近ヲ猛撃シ、魚山水道經行通過次テ十二坪斗山、大河口、陣地ニ據ル敵ヲ掃蕩シ、水路ヲ啓開、龍潭水道ニ進出ス 三、先鋒隊ヲ支援シ、魚龍山砲台ト支ナラシメタリ	(昭和十二年十二月十日) 一、水路啓開任務ニ從事シ、三江營發鎮江下流(尹公洲)ニ進出都天廟砲台至砲撃ヲ 二、尹公洲ニ陸戰隊、楊陸敵機、雷管制所、搜索管制機、雷ノ處分ヲ行ハシム	(昭和十二年十二月十日) 水路啓開任務ニ從事シ、魚龍山砲台砲撃ヲ	二、自三江營至鎮江水路啓開任務ニ從事シ、魚龍山砲台砲撃ヲ
有効ナル銃砲撃ヲ加ヘ敵ヲ潰走シ、沈黙セシメ、水路ヲ啓開シ、主隊ニ進撃ヲ容易ナラシメタリ	一、都天廟砲台及附近陣地ヲ破壊シ、敵ヲ掃蕩セリ 二、機雷管制所ニ敵兵ヲ認メタリ	一、砲撃ニ依リ敵ハ戰意ハ失ヒ、沈黙セリ	二、魚龍山砲台、敵ヲ沈黙セシメ 一、砲撃ニ依リ敵ハ戰意ハ失ヒ、沈黙セリ
	陸戰隊員、重砲隊員、國村幸雄、外務省士官、下士官共		

風 凍

1371

第十二日 船逐隊		
凍 風		
功 勞 甲	功 勞 甲	
（自昭和十一年一月二日） 至同 一月二十日 佐世保歸着原隊後 對軍美内地律機	（自昭和十一年十二月一日） 至昭和十一年一月一日 佐世保二白々南京發	四捕獲隊員ヲ派遣シ大門口附近 ノ我克船トシテ捕メ
	揚子江に配備	
	十二月三日 朱鏡三司令 方面艦隊司令 長官、指揮ヲ 解カシ	
(缺)		山田大ニ 外官長ニ

第二十四驅逐隊

凉

殊勲甲	執勢多ヲ掩護ニ劉子江野砲陣地ト交戦猛撃ス 二、竊塔水道左岸「トカ」及敵密集部隊銃砲撃ス 三、草鞋洲敵密集部隊及江上船舶ニ據ル敵及殘我兵等ニ依リ敗走スル敵兵多數ヲ江上ニ於テ猛撃ス 四、朝天寺附近野砲陣地及下関附近敵密集部隊ト交戦猛撃シテ南京ニ進入ス	易チレタリ 三「トカ」粉砕 密集部隊ハ大損害ヲ蒙フ 三、江上船舶砲彈命中中ノ者入 ヲ起サシメ之據ル敵兵大損害ヲ與ヘ密集部隊ニ大損害ヲ與エ敗走スル敵兵砲撃ヲ加ヘ無慮數千ノ敵ヲ撃滅ス 四、陣地ヲ擊破沈没セシメ密集部隊ニ大損害ヲ與ヘ三隊南京ヲ溯江ヲ拂退ス	先ニ乘リ漂流中ニ救助ス 一、艦。南京進入 (主隊七〇。南京進入)	久留米獨立山砲隊 出村 徳九 一 佐長 川邊正彦 上善兵 中村 明 重兵六 衛藤 徳
一般乗員 一般乗員 陸軍隊員 陸軍隊員 殊勲乙	(昭和十一年十一月十四日) 一、陸戰隊揚陸中山碼頭占據ニ從事ス 二、小掃海隊員中山碼頭附近掃海ニ従事ス 三、浦口ニ陸戰隊ヲ揚陸シ同方面ニ在リ我が陸軍部隊ト連絡ニ任ズ 四、南京警備ニ従事ス	一、陸戰隊中山碼頭附近敗残兵掃蕩シ之ヲ占據ス 二、小掃海隊員中山碼頭附近泊地ヲ清掃ス 三、浦口ニ揚陸シ陸戰隊ハ十三日		中山碼頭占據陸戰隊員 著功者少尉 井川嘉蔵 外上善兵 二九 小掃海隊員 著功者大尉 土藤田 孝

隊 逐 艇 四 十 二 第

風

涼

勲功甲	勲功乙	勲功丙
(自昭和十一年十月十五日 至同 十月二十六日) 南京警備三從事	(自昭和十一年十月十五日 至同 十月二十六日) 陸戦隊ヲ揚陸中山碼頭附近一帶 警備隊員ノ掃蕩並軍需 品陸揚作業ノ護衛ニ從事 ニ南京警備ニ從事	
一南京下関南 口附近警備 ニ中山碼頭警 理作業員下 関對空見張 並警備員電 架設及陸上作 業員派遣 ニ南京電信員 ノ警備ニ從事	一陸戦隊ハ敵敗 殘兵ノ退却遮断 シ之ヲ殲滅シ以テ 中山碼頭一帶ヲ 確保シ安全南 京駐在武備室 間陸上電話ヲ 架設ス ニ十六日 陸上作業員三八 名派遣 聯合通信員金尾 安宅ニ派遣	放助ル陸軍兵 四名ヲ所屬隊ニ 送致スル兵ニ 陸軍部隊ト 連絡ニ確保セリ
	陸戦隊員 津軍大尉 北見大尉 外主官 兵曹長 下士兵三〇	外主官兵一〇 三浦中尉陸 戦隊員 海軍少尉 山岡大ニ 外主官兵一〇

隊 逐 駆 四 十 二 第

風

涼

勲功甲	勲功甲	珠魚乙
水路啓開任務ニ従事シ三江營ニ (昭和十二年十一月十日)	自昭和十二年十一月七日 (至同 十一月九日) 一 神川丸飛行機ノ飛行並ニ威任警務從 事 二 神川丸機ハ十一月七日 三 特別掃海隊協力江陰對岸敵 爆撃管制艦主隊上空ノ直衛ニ任ズ 十二月八日 陸軍部隊江陰對岸揚陸掩護 江陰上流ノ掃海ニ協力ス 十二月九日 三 江營ヲ爆撃ス ニ 於許浦口附近水路啓開ニ従事	一 小掃海隊員ヲクルババンリ機雷砲 掃海ニ處分ニ従事 二 小掃海隊員福善沙附近掃海ニ 従事 三 陸戰隊揚陸シ長山一帯偵察 並ニ機雷管制所搜索ニ従事
江陰ヨリ三江 營ニ至ル水路	神川丸機ハ上記 任務ニ服シ適 切ナル協同ヲ為 ト共ニ敵ニシテ大 ノ損害ヲ與ヘ タリ	處分ス 一 陸戰隊ハ長山 一帯ニ機雷管制 所ヲ設キ敵兵 ヲ退メ大陸軍 部隊トノ連絡 確保ス
十一月十日 第一掃海隊部隊航 空部隊ヨリ除カレ	十二月七日 第一掃海隊部隊 航空部隊トナ	搜索搜索ニ従事 百歸隊ス
		外七官兵九 二 福善沙掃海 隊員 海軍兵曹長 辻松宗親 外七官兵一〇 三 陸戰隊員 海軍少尉 山岡大二 外七官兵七

隊 逐 駆 四 十 二 第

風

涼

進出	殊勲乙	殊勲甲	
確保	(昭和十一年十二月十日) 水路改開任務ニ從事シ三江營發 鎮江下流(尹公洲)ニ進出都天廟砲 臺ト交戦猛撃ス 二陸戰隊ヲ楊陸 盧家圩ヨリ金山 ニ至ル江山岸一帯ヲ偵察敵機滑空官 制所ヲ搜索管制機雷ニ處分テ行テ	(昭和十一年十二月十一日) 一尹公洲發都天廟砲臺及其ノ附近 ヲ猛撃シ其山水道強行通過次 テ土行才山大河口陣地ニ據レル 敵ヲ掃蕩シツ水路ヲ啓開龍潭 水道ニ進出ス 二先頭隊ヲ又援シ泊地北岸ノ敵 陣地及砲臺部隊ヲ砲撃ス 三烏龍山東方陣地ヲ砲撃破啓開 作業掩護ニ從事	(昭和十一年十二月十三日) 二關塞線附近ニ進出偵察中ノ際津 南東進撃ヲ遂
前線警戒隊ニ復 飯三江營ニ於テ食餌			
陸戦隊員 海軍大尉 藤田 淳 外特務士官一 下士官兵 五			敵砲臺陣地ヲ 掃蕩シ友軍 於テ敵陸軍ノ兵ヲ 殺斃セシ陸軍 兵氏名

第二十四驅逐隊					區分
涼風					功績
勲功甲	勲功乙	勲功甲	勲功乙	勲功甲	功績
飛行總主任職務ニ従事 (廣東英德附近軍事施設等 漢鐵道廣九鐵道等爆撃等) (自昭和十一年十月三十一日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給	飛行總主任職務ニ従事 (杭州湾嘉善善嘉興方面及蘇州 無錫方面爆撃等) (自昭和十一年十月十八日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給	飛行總主任職務ニ従事 (杭州湾嘉善善嘉興方面及蘇州 無錫方面爆撃等) (自昭和十一年十月十八日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給	飛行總主任職務ニ従事 (杭州湾嘉善善嘉興方面及蘇州 無錫方面爆撃等) (自昭和十一年十月十八日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給	飛行總主任職務ニ従事 (杭州湾嘉善善嘉興方面及蘇州 無錫方面爆撃等) (自昭和十一年十月十八日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給	戦闘戦闘行動 事變關係業務等 (自昭和十一年十月二十日 至同 十月三十一日) 飛行總主任職務ニ従事 (廣東英德附近軍事施設等 漢鐵道廣九鐵道等爆撃等) (自昭和十一年十月三十一日 至同 十月三十一日) 於佐世保補給
戦果成績	戦果成績	戦果成績	戦果成績	戦果成績	戦果成績
飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ	飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ	飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ	飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ	飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ	飛行機攻撃 目標ニ對シ有 効ニ爆撃ヲ 敢行シ多ク 効果ヲ收メタリ
其他参考事項	其他参考事項	其他参考事項	其他参考事項	其他参考事項	其他参考事項
十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入	十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入	十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入	十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入	十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入	十月二十日 第三驅逐隊第二 隊空襲隊ニ編入
記事	記事	記事	記事	記事	記事

第 二 十 四 驅 逐 隊

風

涼

勲功甲 (一般乗員) 江陰附近水路啓開任務ニ従事 (昭和十二年十一月六日)	殊勲甲 掃海隊員 掃海二從事 掃海二從事	勲功甲 (一般乗員) 江陰附近水路啓開任務ニ従事 (昭和十二年十一月五日)	勲功甲 掃海隊員 掃海二從事 掃海二從事	勲功甲 掃海隊員 掃海二從事 掃海二從事	勲功甲 掃海隊員 掃海二從事 掃海二從事
勲功乙 (昭和十二年十一月二日) 於佐世保補給	勲功乙 (昭和十二年十一月三日) 至同	勲功乙 (昭和十二年十一月三日) 至同	勲功乙 (昭和十二年十一月三日) 至同	勲功乙 (昭和十二年十一月三日) 至同	勲功乙 (昭和十二年十一月三日) 至同
勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)	勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)	勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)	勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)	勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)	勲功甲 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆殺)
勲功甲 水路警戒作業開始	勲功甲 水路警戒作業開始	勲功甲 水路警戒作業開始	勲功甲 水路警戒作業開始	勲功甲 水路警戒作業開始	勲功甲 水路警戒作業開始
勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手	勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手	勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手	勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手	勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手	勲功甲 水路啓開作 業準備中着 手
勲功甲 機雷五枚投 入	勲功甲 機雷五枚投 入	勲功甲 機雷五枚投 入	勲功甲 機雷五枚投 入	勲功甲 機雷五枚投 入	勲功甲 機雷五枚投 入
勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下	勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下	勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下	勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下	勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下	勲功甲 陸戦隊員十月 五日比良三便乗出 發六日揚子江順 下
勲功甲 掃海隊員 外官官二	勲功甲 掃海隊員 外官官二	勲功甲 掃海隊員 外官官二	勲功甲 掃海隊員 外官官二	勲功甲 掃海隊員 外官官二	勲功甲 掃海隊員 外官官二

第 二 十 四 號 送 張

風

送

勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功甲
(昭和十二年十一月二十六日) 一、燕湖警備二從事支那籍小	(昭和十一年十一月二十五日) 一、陸兵輸送任務二從事 (自東梁山及自西梁山至西梁山 至燕湖) 二、西梁山ニ於テ「ホントーン」ヲ抑留	(昭和十一年十一月二十四日) 一、燕湖警備二從事一、部士官連 便乘舟自港鎮作戰敵地視察 二、米石磯附近江上ニ於ケル陸兵遭難者救援ニ從事	(昭和十一年十一月二十三日) 陸兵燕湖至西梁山渡河上陸作戰掩護並輸送ニ從事
一、燕湖警備二從事支那籍小	一、陸軍作戦ニ協力 二、東方江上作戰ニ利用價值大ナル居住設備ヲ有スル新式大型「ホントーン」四機ヲ抑留セリ	一、敵地視察作戰實施上有効ナリシモノト認め 二、陸軍側依頼ニ依リ遭難地ニ急行陸軍ト連絡及搜索ニ努メリ遭難者遂ニ発見スルに至リ	陸軍作戦ニ協力西梁山砲台及附近一帯を領目方面水路ヲ確保セリ
	輸送陸兵 東梁山至西梁山約三〇。 西梁山至燕湖約三〇。		輸送陸兵 九五

1379

第二十四驅逐隊				
江 風				
殊勲乙	殊勲甲	一般乗員 勲功甲	勲功乙	功勞甲
(昭和十五年十一月二十七日) 一、燕湖警備ニ從事 二、陸軍ト協力魚曾港鎮攻撃ニ 從事	(自昭和十五年十一月三十日) (至昭和十五年一月一日) 佐世保ニ向テ南京發	(自昭和十五年十一月二十八日) (至十一月二十九日) 一、燕湖發南京ニ下江警備 二、小掃海隊龍潭水道掃海ニ從事	(自昭和十五年十一月二日) (至十一月三日) 一月二日佐世保敗走原隊ニ復歸ス 對事變内地待機	
機関修復ニ 努ム	陸軍ト協力 寶塔野砲 港鎮江岸掃 一、敵約三〇ヲ 潰滅野砲一門 破壊陸軍攻 撃部隊進 撃ヲ容易ナ シム	龍潭水道 敵敷設機雷 面掃完了 水路啓開確係	揚子江警備	
敵小銃彈一命 中		三十日作戰ニ関テ 支那方面艦隊司 令長官ノ指揮ヲ 解カル		
		掃海隊員 西日 南崎重雄 外五名共一〇		

(終)

第 二 十 四 回 進 展

風

江

（敵東軍） 魚功甲 陸戦隊員 掃海隊員 疎勤乙	殊勲甲	
（昭和十一年二月十四日） （陸戦隊揚陸中山碼頭占據ニ從事） （小掃海隊員中山碼頭附近掃海ニ從事） （三六ノ一事件） （進難者被撲為聞） （源ニ進出）	（昭和十一年二月十三日） （開塞線附近ニ進出復舊中ノ保津） （勢多ヲ掩護シ劉子野砲陣地ヲ猛撃ヲ加フ） （江風司令官（蘇東）ハ龍津水道ヲ機雷敷設面リ突破南京ニ向ヒ進撃） （江上江岸多敷ノ敵兵ニ對シ銃砲撃ヲ加ヘリ） （三七〇敵首都ニ進入ス） （四泊地附近機雷衛所水中防備施設探査ニ從事） （帶ヒ陸戦隊發進）	（戦之ヲ猛撃ス） （三島龍山本方開塞線爆破成功） （作樂砲ニ被シテ死ス）
（陸戦隊中山碼頭附近敵兵ヲ掃海ニ從事） （小掃海隊員中山碼頭附近掃海ニ從事） （泊地清掃） （三機難作中ノ被撲） （出難）	（敵野砲陣地ヲ潰滅シ反軍ノ南京進撃ヲ容易クシタリ） （進江ノ途上射殺セシ敵兵約八〇〇名ニ及ブ） （三泊地水中防備施設調査）	
	（第士戰隊旗幟ヲ一時安宅ヨリ江風ニ變更セラレ南京ニ於テ再び江風ヨリ安宅ニ變更セラル）	
（陸戦隊員） （海軍少尉） （山口光成） （外ニ官兵三） （掃海隊員） （海軍少尉） （通津方雄） （外ニ官兵一三）	（陸戦隊員） （特務少尉） （道津方雄） （外ニ官兵四）	

江

隊 逐 驅 四 十 二 第					區 分
風 山					功 績
勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功乙	勲功甲	等 級
於上海江上警戒任務從事 (昭和十一年十月三日)	浦東敵砲兵陣地攻撃等 (昭和十一年十一月二日)	飛行基地員及物件輸送に従事(佐世保吳松間) (自昭和十一年十月三十一日至同 十月一日)	於佐世保補給 (自昭和十一年十月二十八日至同 十月三十日)	飛行警戒任務に従事(廣東英德附近軍事施設) 粵漢鐵道廣九鐵道等爆撃 (自昭和十一年十月二十日至同 十月二十七日)	戰 闘 戰 闘 行 動 事 變 開 係 業 務 等
	敵野砲陣地ヲ 深奥ニ入リ敵 陣地ニ大火炎ヲ 引起シタル		作戦準備	飛行機及爆撃 目標ニ對シ有 効な爆撃ヲ 敢行シ多大ノ 効果ヲ收メタリ	戦果成績 効果等
		基地員 准士官以上一〇 下士官兵九七 基地物作若干		第三聯隊第二 戰隊戰隊二編 入	其他參考事項
					記 事

1383

周 山

1384

隊 逐 駆 四 十 二 第

風

山

勲勞乙 (昭和十一年十二月二日) 於佐世保補給	勲功甲 (自昭和十一年十二月三日) 至同 十二月四日 十二月三日揚子江流域ニ向ケ佐世保發十二月四日「クハバ」着 策警戒部隊(前路警戒隊)ニ合同水路啓開作業開始	飛行警備隊 指揮受ク	福美海隊員 殊勲甲
勲勞甲 (昭和十一年十二月六日) 一、江陰附近水路啓開任務ニ従事 二、小掃海隊員「クハバ」機當座掃海並ニ処分ニ従事 三、小掃海隊員福美沙附近掃海ニ従事	勲功甲 (昭和十一年十二月五日) 一、江陰附近水路啓開任務ニ従事 二、小掃海隊員「クハバ」機當座掃海ニ従事 三、陸戦隊ヲ揚陸江陰一帯に制機雷衛所搜索ニ従事	水路啓開作業準備ニ着手	福美海隊員 殊勲甲
「クハバ」機雷二枚投機雷八爆破処分陸戦隊員ハ	機雷五枚投機雷衛所ヲ認メ		福美海隊員 殊勲甲
「クハバ」機掃海隊員海軍特務中尉濱崎藤市外上官兵一陸戦隊員下官兵五隊員	福美海隊員 殊勲甲		福美海隊員 殊勲甲

隊 逐 駆 四 十 二 第

風

山

殊勲乙	勲功甲	勲功甲	勲功甲	殊勲乙 陸戰隊員	陸戰隊員
(昭和十一年十月十日) 一都天廟砲台攻撃中 二陸戰隊員公洲三揚陸隊管制機雷 衛所搜索ノ	(昭和十一年十月十日) 三五營三進出水路啓開作業ニ従 事	(昭和十一年十月九日) 水路啓開作業ニ従事	(昭和十一年十月八日) 水路啓開作業ニ従事	(昭和十一年十月七日) 一敵兵力制壓並ニ水路啓開作 業直接掩護ニ従事 二小掃海隊員「クハバン」機雷照 掃海ニ従事 三揚陸中陸戰隊員江陰附近一帯 管制機雷衛所搜索ニ従事	四揚陸中陸戰隊員江陰一帯 管制機雷衛所搜索ニ従事
敵砲台及陣 地大打撃ヲ 與フ	水路確保		陸水路確保	「クハバン」 機雷照ニ於テ 機雷一拘捉機 雷八個爆破シ 機雷照ノ掃海 完了	機雷衛所ヲ認 メタ
				陸戰隊員敵艦	
				下士官兵五 陸戰隊員	下士官兵三 陸戰隊員

珠 魚 山 日 十 一 第
風

珠魚山 (昭和五年十一月十一日) 一、都天廟砲台附近敵陣地攻撃 二、上野市街發射敵ヲ掃蕩シテ水 路沿河龍潭水道ニ進出 三、永々橋野砲陣地攻撃 四、斗山敵陣地攻撃 五、烏龍山砲台ト支隊 六、開塞線改關シテ支隊又援	有敵ハ砲撃 ヲハ敵ヲ掃蕩 シテ水路 ヲ沿河シテ 進出スルヲ 容易ク ラニメテ
一、敵野砲陣地ヲ 潰滅シテ反軍ヲ 南ニ進敵ヲ定 易クラニメテ 二、過河シテ上野 市街ニ敵兵約 ハ、〇三及 三、河地水中防 備施設調査	
陸軍隊 指揮官 中野大尉 井澤重 外吉良二四	

隊 逐 艇 四 十 二 第

風

山

一、隊員 勲功甲 殊勲甲 (昭和十一年十一月十七日) 南京ニ在リテ江上警戒ニ従事 二、小掃海隊員ノ龍潭水道ニ派遣 掃逐ニ従事	勲功甲 (自昭和十一年十一月十六日) 至同日 十一月十七日 南京ニ在リテ江上警戒ニ従事 一、陸戦隊ノ中山碼頭ニ揚陸	勲功甲 (昭和十一年十一月十五日) 南京ニ在リテ江上警戒 從事	一、隊員 勲功甲 殊勲甲 (昭和十一年十一月十四日) 南京ニ在リテ江上警戒ニ従事 二、陸戦隊ノ下関ニ揚陸附近ニ掃 査警戒ニ従事 三、小掃海隊員ノ中山碼頭附近掃海 從事	衡所搜索
檢査一拘起 令セリ	陸作業員及 見張員ノ陸上 ニ派シ陸上警戒 ニ従事		下関附近ニ掃 査警戒 清掃完了	
掃海隊員 津浦少尉 普門正三 外下官兵三八	陸戦隊 指揮官 佐々木大尉 梶本 類 外下官兵二三			

第十二回 運送		
山 風		
功勞甲	勲功甲	勲功乙
自昭和十一年一月二日 至同 一月三十日 一月二日佐世保歸着原隊二復 歸入 對事度内地待機	自昭和十一年一月三十日 至昭和十一年一月一日 佐世保二向々南京發	自昭和十一年一月二十八日 至同 一月二十九日 南京ニ在リテ江上警戒ニ從事 小掃海隊員ヲ 龍潭水道ニ派 遣掃海ニ從事
	揚子江警備	水路警戒
	五月三十日 作戰ニ関スル支那 方面警務司令長 官、指揮ヲ解 九	
		掃海隊 掃海官 掃海大尉 掃海本員 外上士長二

(終)

第十二 第四 驅 逐 隊					區	功績
海 風					功績	功績
勲功甲	勲功甲	勲功乙	勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功甲
(昭和十二年十一月三日)	(昭和十二年十一月二日) 浦東敵野砲陣地攻撃手	自昭和十二年十月三十一日 至同 十月一日 飛行基地員及物件輸送任務 從事(佐世保間)	自昭和十二年十月二十八日 至同 十月三十日 於佐世保補給	自昭和十二年十月二十日 至同 十月二十七日 飛行艦隊佐務ニ從事 (廣東英德附近軍事施設 粵漢鐵道廣九鐵道警備等)	自昭和十二年十月二十日 至同 十月二十七日 飛行艦隊佐務ニ從事 (廣東英德附近軍事施設 粵漢鐵道廣九鐵道警備等)	自昭和十二年十月二十日 至同 十月二十七日 飛行艦隊佐務ニ從事 (廣東英德附近軍事施設 粵漢鐵道廣九鐵道警備等)
起サシム	敵野砲陣地ヲ 沈黙セシメ敵 陣地ニ大火ヲ 起サシム	敵野砲陣地ヲ 沈黙セシメ敵 陣地ニ大火ヲ 起サシム	作戰準備	作戰準備	作戰準備	作戰準備
		基地物件若干	基地員 准士官以上 九 下士官兵 一〇九	十月三十一日 第一航空隊 二編入、機務 三編入、機務 四編入、機務	十月二十日 第二機隊第二 航空隊隊員	其他、參考事項
						記 事

海

第 二 十 四 號 還 隊

陸

海

勲功乙	勲功甲	勲功乙	
(昭和十一年五月二日) 於佐世保補給 (自昭和十一年五月三日) 至同 五月四日 五月三日揚子江流域二向々佐世保	(自昭和十一年五月二十日) 至同 五月一日 飛行警戒任務ニ従事 (廣東方面軍事施設粵漢鐵 道廣九鐵道等爆撃)	(自昭和十一年五月十八日) 至同 五月二十日 於佐世保補給	
作戦準備 水路啓開作 業準備ニ着 手	飛行動機攻撃 目標ニ對シテ効 果爆撃ヲ敢行 シ多大ノ効果ヲ 收メタリ 五月十一日 至五月一日 虎屋航空隊飛 行機上海基地 進出飛行警告 ヲ行フ	作戦準備	果ヲ收メタリ
	五月一日 編入第一戰隊 司令官ノ指揮ヲ 受メ	五月一日 第一戰隊第一水雷 戰隊ニ編入同日附 支那方面戰隊司 令長官ノ指揮下 ニ入り中支那戰隊ニ 編入第一戰隊	

海

海

1394

隊 逐 驅 四 十 二 第

風

海

一般乗員 勲功甲	殊勲甲	
(昭和十一年十二月十四日) 一南京警備任務ニ従事	(昭和十一年十二月十四日) 一開塞線附近ニ進出偵察中、保津 勢多ヲ檢査シ、刻下ノ埒宛陣地 烏龍山砲台ニ猛攻セリ 二龍潭水道發射機ニ火撃面ヲ突破 南京ニ向テ進撃シ、敵兵大 河口子山附近ノ敵兵ニ對シ銃砲 般ヲ撃テ 三一七〇〇敵自衛ニ進入ス	一啓開龍潭水道ニ進出ス 二烏龍山砲臺上ニ交戦シ、猛撃 ス 三烏龍山東方開塞線爆破成功 作業搭せ護ニ従事
一陸戰隊中山 碼頭附近ニ敗	一河口子口野砲陣 地ヲ潰滅シ、友 軍、南京進撃 ヲ容易セラセリ 二烏龍山砲台ヲ 全ク沈黙セシム 三湘江、遠上江 峯江岸、敵兵ニ 對シ猛撃、砲火 打ち、與ヘタリ	一砲火ヲ粉砕敵 并備兵ヲ潰滅セ シム 四斗山、河口及附 近敵陣地ニ相當 ノ損害ヲ與テ 五烏龍山砲台ヲ 沈黙セシム
陸戰隊員 海軍大尉		

隊 逐 犯 四 十 二 第

風

海

勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功甲	殊勲乙
（昭和十二年十一月二十二日） 蕪湖警備任務二從事	（昭和十二年十一月二十二日） 蕪湖警備任務二從事 浮流機雷處分太陽河上流及 西梁山附近敵方攻撃等蕪湖二 進出	（昭和十二年十一月十七日） 南京警備任務二從事 至同 十一月二十日	（昭和十二年十一月十六日） 南京警備任務二從事 二、三、逃走、敵敗、兵砂、手	（昭和十二年十一月十五日） 南京警備任務二從事	（昭和十二年十一月十五日） 陸戰隊揚陸中山碼頭占據 二從事 二、三、掃海隊員中山碼頭附近掃 海二從事
陸軍、西梁山 上陸作戰、對 二、三、備	陸軍、西梁山 上陸作戰、對 二、三、備	二、三、備 二、三、備	二、三、備 二、三、備	二、三、備 二、三、備	二、三、備 二、三、備
					平塚南、 外下、山、日、兵、 掃海隊員、 二、三、日、兵、 外下、山、日、兵、

第一十回 運送

風

海

殊勲乙	勲功甲	勲功甲	勲功甲	勲功甲
(昭和十二年十一月二十七日) 一、蕪湖警備任務ニ従事 二、陸軍ト協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	(昭和十二年十一月) 一、蕪湖警備任務ニ従事	(昭和十二年十一月二十五日) 一、蕪湖警備任務ニ従事 二、内火艇二隻陸兵輸送任務ニ従事(自東梁山及自西梁山至西梁山及至蕪湖)	(昭和十二年十一月二十四日) 一、蕪湖警備任務ニ従事(一部) 二、官達便來魚骨港鎮作戦敵地視察	(昭和十二年十一月二十三日) 陸兵自蕪湖至西梁山渡河上陸作戦掩護並ニ輸送ニ従事
陸軍作戦ニ協力西梁山附近一帶及附近方面水路ヲ確保セリ	敵地視察ハ作戦實施上有効ナリト認ム	一、陸軍作戦ニ協力 二、魚骨港鎮攻撃ニ従事準備	輸送陸兵六。	陸軍作戦ニ協力西梁山附近一帶及附近方面水路ヲ確保セリ
陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	輸送陸兵六。	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事
陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事	陸軍作戦ニ協力魚骨港鎮攻撃ニ従事

第二十四號 逐隊			
風		海	
功勞甲	勲功甲	殊勲乙	一般功員
(自昭和十一年一月二日) 至同 一月三十一日 一月二日佐世保歸着原隊復歸 對馬島内地待機	(自昭和十一年十一月三十日) 至昭和十一年一月一日 佐世保二向々南京發	三小掃海隊龍潭水道掃海三從事 三從事 三燕湖發南京三下江警備任務 三從事	(自昭和十一年十一月二十八日) 至同 十一月二十九日 龍潭水道敵 敷設面清掃 完了 水路啓開確保
	揚子江警備		
	十一月三十日 作戰開 支那 方面敵隊司令長 官指揮下		
			掃海隊員 事務員 外官兵二

(終)